

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ゆいわーく茅野 市民活動者の裾野拡大と with コロナ時代の活動支援
事業主体 (連絡先)	茅野市 (市民活動センター『ゆいわーく茅野』)
事業区分	(1) ⑧その他地域の元気を生み出す市域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	799,135 円 (うち支援金: 579,000 円)

事業内容

市民活動センター『ゆいわーく茅野』は、「であう つながる 創造する」をキーワードに、市民総参加で持続可能なまちづくりを目指しています。地域の資源(ヒト・モノ・コト)を足がかりに、自主的、主体的に地域の課題解決に向けて行動し、まちの元気を生み出す活動を様々な視点からサポートし、市民とともに豊かなまちづくりをすすめています。

今年度は、活動者の高齢化や後継者不足、市民活動への参加機会の創出、新型コロナウイルス感染症の影響による活動縮小や継続への不安払拭について、特に支援しています。



【講座の様子(ゆいわーくカフェ)】

ソーシャルディスタンスの確認

事業効果

【令和2年度講座実績(別紙あり)】

- ・ゆいわーくカフェ 48名
- ・市民活動実践講座 7チーム(延べ48名)
- ・仲間づくり講座 18名
- ・オンラインスキル講座 74名

【行動の変化、参加者の感想】

- ・新型コロナウイルス感染症の不安を払拭するため、ガイドラインを作成し、全てのプログラムにおいて消毒、換気、席の位置等意識したことで、参加者の「自分たちも開催できる」というモチベーションがアップしました。
- ・音楽活動再開に迷っていた団体が、講座での助言をもとに再開に踏み出し、グループで考え工夫したうえで、新たなボランティア活動につながりました。
- ・市民活動実践講座では、今だからできることについて講師からの具体的な助言により、半数以上のグループが活動再開、補助金申請など、新たな一歩を踏み出すことができました。
- ・仲間づくり講座の参加者から、「これまでやっていたことが間違っていなかったという後ろ盾ができ、自信を持って活動していきたい」との感想が聞かれました。
- ・オンラインスキル講座を受講したことで、実際に活動にオンラインを使用した方が見られました。

今後の取り組み

- ・今年度の団体、個人あてのアンケート調査の結果を基礎データとして、次年度は with/after コロナ時代に、活動を継続するための講座や、活動者を拡大するための講座を企画します。
例: オンラインスキル講座、コロナ時代の活動再点検
シニア世代の市民活動との出会いの機会
市民活動団体の紹介(カタログ作成や活動説明会など)
- ・新型コロナウイルス感染防止対策については、ガイドラインを作成し、講座実施の方法や会場の消毒方法、実施の可否を検討してきました。市民活動の支援をするセンターとして、今後も感染状況に合わせ、常にガイドラインを見直して実施していきます。

※自己評価【 A 】

【理由】

- ・センター主催事業をきっかけに、活動再開に向けた動きとなった団体が多かった。
- ・活動者ニーズに合わせた事業により、どの講座も満足度が高かった。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある